

2020年（4月入学）

名古屋大学大学院国際開発研究科
博士後期課程

Doctoral Program

Application Guidebook

for the Academic Year 2020

学生募集要項

April Enrollment

Graduate School of International Development
(GSID)

NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学大学院
国際開発研究科

2019 年度 学 年 曆 概 要

(4月入学)

(10月入学)

月	旬	事 項	月	旬	事 項
4 月	上 旬	春季休業(1日～4日) 入学式(5日)、ガイダンス(5日) 日本学生支援機構奨学生(在学採用)出願締切	4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)
	中 旬	春学期授業開始(11日)		中 旬	春学期授業開始(11日)
	下 旬	学生証等交付、定期健康診断、学修計画届提出 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限		下 旬	定期健康診断 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限
5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日) (講義予備日:11日・25日)	5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日) (講義予備日:11日・25日)
6 月	上 旬	名大祭(13日午後～16日) (講義予備日:29日)	6 月	上 旬	名大祭(13日午後～16日)
	中 旬			中 旬	博士学位論文提出期限(14日) 後期課程(10月入学)願書受付 (講義予備日:29日)
7 月	下 旬	春学期授業終了(26日) 前期課程願書受付 集中講義(7月下旬～9月上旬) (講義予備日:6日・13日・20日)	7 月	上 旬	修士学位論文提出期限(5日)
				下 旬	春学期授業終了(26日) 修士学位論文口述試験(19日) 後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月上旬) (講義予備日:6日・13日・20日) 大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付
8 月	上 旬	夏季休業(8日～9月30日)	8 月	上 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(8日～9月30日)
9 月	中 旬	前期課程入学試験 国際開発海外実地研修(OFW) 前期課程入学試験合格発表	9 月	中 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)
				下 旬	大学院入・進学手続(26日) 修了式・学位授与式(27日) 入学ガイダンス(30日)
10 月	上 旬	秋学期授業開始(2日)	10 月	上 旬	入学式(1日)
	中 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(秋学期科目)締切		中 旬	秋学期授業開始(2日) 日本学生支援機構奨学生(在学採用)出願締切 学生証等交付、定期健康診断 履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(秋学期科目)締切
	下 旬	国際開発国内実地研修(OFW)(実施時期未定) 秋学期分授業料納入期限 (講義予備日:26)		下 旬	学修計画届提出 国際開発国内実地研修(OFW)(実施時期未定) 秋学期分授業料納入期限
11 月		(講義予備日:9日・27日・28日)	11 月		(講義予備日:9日・27日・28日)
12 月	中 旬	博士学位論文提出期限(13日) 前期課程2期・後期課程(4月入学)願書受付	12 月		
	下 旬	年末授業最終日(24日) 冬季休業(28日～1月7日) (講義予備日:25日)		下 旬	年末授業最終日(24日) 冬季休業(28日～1月7日) (講義予備日:25日)
1 月	上 旬	年始授業開始日(8日)	1 月	上 旬	年始授業開始日(8日)
	中 旬	修士学位論文提出期限(10日)		下 旬	秋学期授業終了(28日)
	下 旬	秋学期授業終了(28日) 前期課程2期 入学試験			
2 月	上 旬	前期課程2期、後期課程(4月入学)入・進学試験 修士学位論文口述試験(3日)	2 月		
	中 旬	前期課程2期、後期課程(4月入学)入・進学試験合格発表 大学院研究生等(一般・4月入学)願書受付			
3 月	上 旬	大学院研究生等(一般・4月入学)合格発表	3 月	中 旬	授業料免除申請(2019年度前期(春学期)、後期(秋学期))締切
	中 旬	授業料免除申請(2019年度前期(春学期)、後期(秋学期))締切			
	下 旬	修了式・学位授与式(25日) 大学院入・進学手続(26日～27日)			
(2020年度)					
4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)	4 月	上 旬	春季休業(1日～4日)
	中 旬	春学期授業開始、定期健康診断		中 旬	春学期授業開始、定期健康診断
	下 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限		下 旬	履修申請、他大学・他研究科(学部)履修願(春学期科目)締切 春学期分授業料納入期限
5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日)	5 月	上 旬	名古屋大学記念日(1日)
6 月	上 旬	名大祭 後期課程(10月入学)願書受付	6 月	上 旬	名大祭 後期課程(10月入学)願書受付
7 月	下 旬	春学期授業終了 後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月下旬)	7 月	下 旬	春学期授業終了 後期課程(10月入学)入・進学試験 後期課程(10月入学)入・進学試験合格発表 集中講義(7月下旬～9月下旬)
8 月		大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(未定～9月30日)	8 月		大学院研究生等(一般・10月入学)願書受付 夏季休業(未定～9月30日)
9 月	下 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)(実施時期未定) 修了式・学位授与式 大学院入・進学手続	9 月	下 旬	大学院研究生等(一般・10月入学)合格発表 国際開発海外実地研修(OFW)(実施時期未定) 修了式・学位授与式 大学院入・進学手続

名古屋大学大学院国際開発研究科
博士後期課程

アドミッション・ポリシー

(入学者受入方針)

本研究科では「国際開発研究科のミッション」に示された理念・目標のもとに、自立的
研究・実務能力を備え、国際開発協力の進展に資する研究者及び高度専門職業人を養成し
ています。

本研究科では、研究科のミッションを達成するため、以下の人材を求めます。

- ① 国際社会・各国政府・市民が直面する多様な開発課題を社会科学の理論と手法を用いて実証
的に研究し、グローバルな視点で政策立案とその実施過程に貢献する意欲をもつ人
- ② それぞれの国や地域の実情を踏まえ、国際社会と協力して、各国の国づくりや地域づくりに
貢献する意欲をもつ人
- ③ 世界各国の政府・大学、国際機関、企業、NGO、市民とのネットワークを構築し、地球レ
ベルで持続可能な開発と公正な社会の実現を推し進める意欲をもつ人

目 次

2020年（4月入学） 博士後期課程学生募集要項

I. 一般選抜	1
II. 社会人（高度専門人）特別選抜	26

注）出願所定用紙（別冊）の請求は、この学生募集要項（p. 1）3 出願所定用紙の入手を参照すること。

I. 一般選抜（4月入学）

2020年度本研究科博士後期課程に進学または入学させる学生を下記により募集する。

1. 募集人員

国際開発協力専攻 18名程度

2. 願書受付期間

2019年12月2日（月）～2019年12月13日（金）

午前9時から午後4時まで受理する。

郵送による場合は書留郵便とし、2019年12月13日（金）午後4時までに到着したものに限り受理する。

3. 出願所定用紙の入手

出願所定用紙（別冊）を入手すること。希望者には郵送するので、郵送を希望する者（日本国内在住）は、返信用封筒（角形2号〔約32cm×24cm〕）に250円分の切手を貼付し、あて名を明記したものを同封して、文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し込むこと。なお、郵送する封筒に「2020年度後期課程（4月入学）出願所定用紙（別冊）請求」と朱書すること。

返信用封筒（あて名明記。250円分の切手貼付）

海外から出願所定用紙（別冊）等を請求する場合は gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで連絡すること。

4. 受け入れ教員の同意

出願書類を提出する前に、国際開発研究科の教員（教授または准教授）から入学後指導教員となることについて同意を得ておくことが望ましい。

国際開発研究科教員については以下を参照すること。

国際開発研究科教員一覧

<https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/ja/general/members/>

名古屋大学教員プロフィール

<http://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/view/search?m=affiliation&l=ja&a2=0000045&s=1&o=affiliation>

5. 選考実施の方法、日時、場所

学科試験は行わない。口述試験のみで審査する。

口述試験：2020年2月6日（木） 9：30～9：50 に受け付けを済ませること

専攻	時間	場所	備考
国際開発協力	午前10時から	本研究科	日本語または英語で行う。

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等に

より周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

◇国際開発研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/>

6. 合格者発表

- (1) 日時 2020年2月12日(水)午後2時頃の予定(電話による照会には一切応じない。)
- (2) 場所 国際開発研究科玄関
- (3) 通知 発表ののち発送する。

7. 入学手続

詳細については別途通知する。

(1) 手続日

2020年3月26日(木)～3月27日(金)

(2) 入学時に要する学生納入金

- ① 入学料 282,000円
- ② 授業料 6か月分(2020年4月～2020年9月) 267,900円(年額535,800円)

(注1) 他の大学の学籍を有する者は原則として入学が許可されない。ただし、事情により許可される場合があるので、入学手続の前に文系教務課・国際開発研究科入試担当に問い合わせること。

(注2) 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金が適用される。

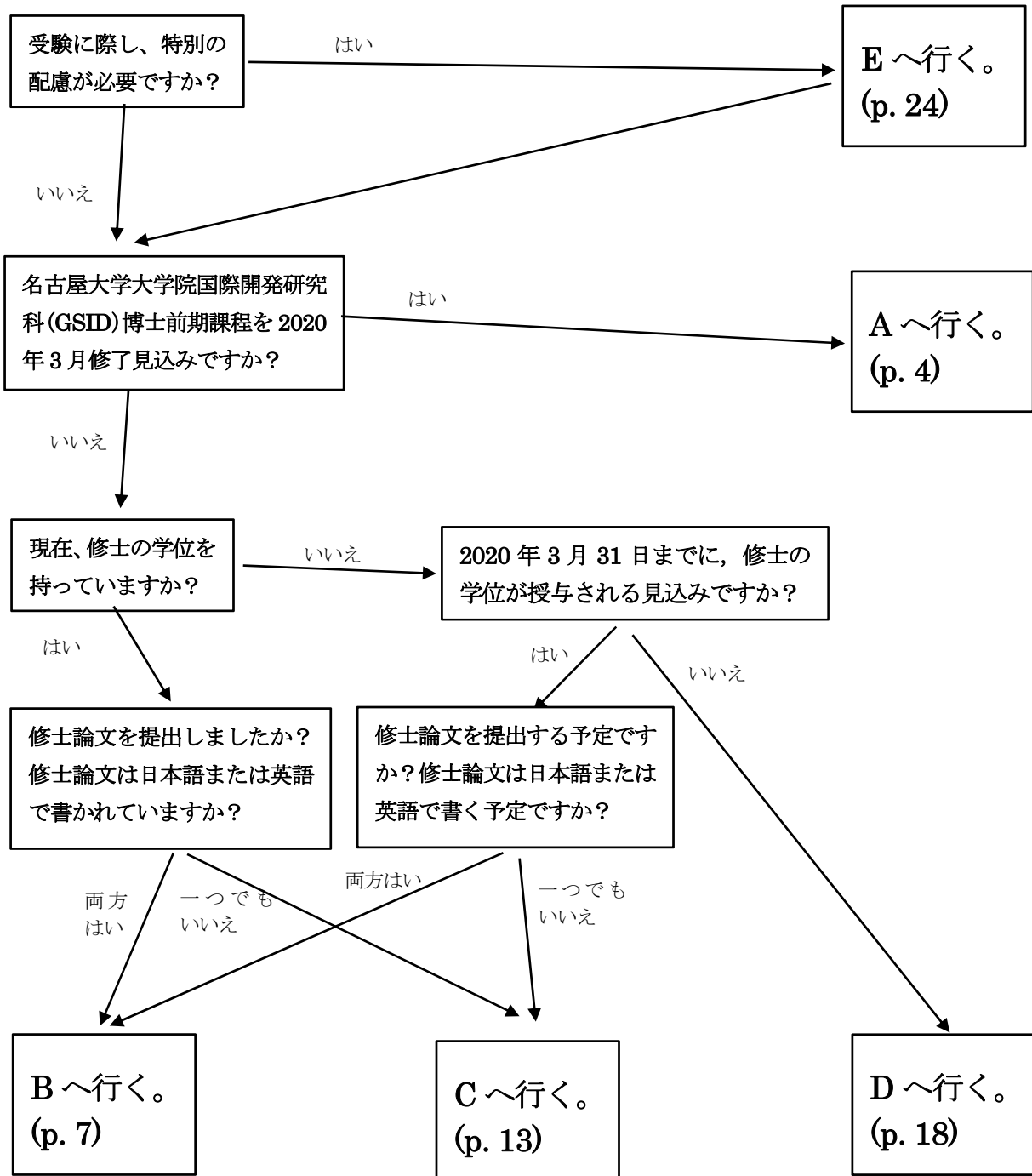
(注3) 合格者のうち、有職者については入学手続時に所属長の承諾書または承諾書に代わる自己責任を明確にした書類の提出を求める。

8. その他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/> を参照すること。
- (3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課(文系総合館 1階)
国際開発研究科入試担当
電話：052(789)4957
FAX：052(789)4921
Email：gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

出願資格・手続きについて



- A. 国際関係研究科 (GSID) 博士前期課程を 2020 年 3 月修了見込みの者 → 4 ページへ。
- B. 修士論文を提出して修士の学位を授与された者または 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者 → 7 ページへ。
- C. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者 → 13 ページへ。
- D. 修士の学位を授与されていない者または 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みのない者 → 18 ページへ。
- E. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者 → 24 ページへ。

A. 名古屋大学大学院国際関係研究科（GSID）博士前期課程を2020年3月修了見込みの者

国際開発研究科博士前期課程を2020年3月修了見込みの者は、以下に従う。

1. 出願書類

国際開発研究科博士前期課程を2020年3月に修了見込みの者は、以下の書類のみ提出すること。

(1) 全員が提出する書類（所定用紙）

A① 進学・入学志願書*

必要事項を記入すること。

A② 履歴書*

必要事項を記入すること。

A③ 写真票*・受験票*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒*： 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

*出願書類A①・A②・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項（p.1）の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 全員が提出する書類（書式自由）

A⑦ 研究計画書： 3部

A4版用紙に和文5,000字以内、または英文2,000語以内。紙媒体3部を提出すること。

(3) 提出が任意の書類

A⑧ 研究業績

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し（コピー）及び論文要旨（日本語3,000字または英語1,200語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊

の場合はその旨を明記すること。書籍の1章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

- A⑬ 研究業績： 各3部
- A⑭ 研究業績の要旨： 各3部
- A⑮ 研究業績リスト： 3部

A⑯ 語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）

英語能力試験（TOEFL, TOEIC または IELTS）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。提出は任意。

2. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については、電子ファイル（PDF ファイルまたは MS Word ファイル）を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

- A⑦ 研究計画書
- A⑬ 研究業績
- A⑭ 研究業績の要旨

3. 検定料

免除する。

4. その他

- (1) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/> を参照すること。
- (2) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

5. 照会先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課（文系総合館 1 階）
国際開発研究科入試担当
電話：052 (789) 4957
FAX：052 (789) 4921
Email：gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

A. 名古屋大学大学院国際関係研究科（GSID）博士前期課程を2020年3月修了見込みの者

提出物チェックリスト

	A①	進学・入学志願書	全員	
	A②	履歴書	全員	
	A③	写真票・受験票	全員	
	A④	領収証書	全員	
	A⑤	返信用封筒 2通	全員	
	A⑥	あて名シール	全員	
	A⑦	研究計画書 3部	全員	Email
	A⑬	研究業績：各3部	任意	Email
	A⑭	研究業績の要旨：各3部	任意	Email
	A⑮	研究業績リスト：3部	任意	
	A⑯	語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）	任意	

ここに✓をいれる。

B. 修士論文を提出して修士の学位を授与された者または2020年3月31日までに授与される見込みの者

1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

日本語または英語で修士学位請求論文を提出し、

- ① 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者

出願後、出願資格に問題があると判断された場合、追加資料の提出を求めることがある。詳細はD (p. 18) を参照せよ。

2. 出願書類(共通)

国際開発研究科博士前期課程を2020年3月修了見込みの者は、A (p. 4) を参照すること。

国際開発研究科博士前期課程を2020年3月修了見込みの者以外の進学・入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

(1) 全員が提出する書類(所定用紙)

A① 進学・入学志願書*

必要事項を記入すること。

A② 履歴書*

必要事項を記入すること。

A③ 写真票*・受験票*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒* 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

*出願書類A①・A②・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項(p. 1)の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 全員が提出する書類（書式自由）

A⑦ 研究計画書： 3部

A4 版用紙に和文 5,000 字以内、または英文 2,000 語以内。紙媒体 3 部を提出すること。

(3) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

A⑧ パスポートの写し（コピー）

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し（コピー）を提出すること。

A⑨ 在留カードの両面の写し（コピー）

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写し（コピー）を提出すること。

(4) 提出が任意の書類

A⑩ 推薦書

最終出身大学院の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。提出は任意。

A⑪ 自薦書

提出は任意。

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書： 3部

実務家または研究者としての経験を有する場合のみ。A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。提出は任意。

A⑬ 研究業績

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し（コピー）及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

A⑬ 研究業績： 各 3 部

A⑭ 研究業績の要旨： 各 3 部

A⑮ 研究業績リスト： 3 部

A⑯ 語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）

英語能力試験（TOEFL, TOEIC または IELTS）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。提出は任意。

3. 出願書類 (B用)

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

B① 成績証明書

最終出身大学院発行のもの。写し (コピー) は不可。

B② 修士学位証明書または取得見込証明書

最終出身大学院発行のもの。写し (コピー) は不可。

B③ 修士学位請求論文の写し (コピー) : 3部

B④ 修士学位請求論文の要旨 : 3部

和文 3,000 字または英語 1,200 語程度。

4. 修士学位請求論文の提出

(1) 修士学位請求論文が未完成の場合

所属研究科の修士学位論文提出締切日の設定により、出願時に修士学位請求論文が未完成の場合は、出願時に和文 3,000 字または英文 1,200 語程度の論文要旨及び所属研究科長あるいは指導教員による修士学位論文提出締切日を証明する書類を提出し、完成させた修士学位論文の写し (コピー) 及び論文要旨を遅くとも 2020 年 1 月 17 日 (金) までに提出すること。

B⑤ 未完成の論文要旨 : 3部

B⑥ 修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類

論文提出期日

2020 年 1 月 17 日 (金) 午後 4 時

(2) 修士学位請求論文が日本語または英語で書かれていない場合

修士学位請求論文が日本語または英語で書かれていない場合、C (p. 13) へ行く。

(3) 修士論文と異なるテーマを研究テーマにする場合

提出する修士学位請求論文が入学後の研究テーマ以外の場合、当該修士学位請求論文に加えて、研究テーマに関連する研究論文 (日本語または英語) 等の写し (コピー) 及び論文要旨 (日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度) を提出しなければならない。公刊されている必要はない。その場合、日本語 10,000 字以上、英語 4,000 語以上であることを要す。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、論文リストも提出すること。論文リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。書籍の一章である場合、編集者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。研究業績 (出願書類 A⑬・A⑭・A⑮) を提出する場合は不要。

また、研究テーマを変更する理由を示した理由書を提出すること (書式自由)。

B⑦ 修士学位請求論文に代わる研究論文 : 各 3部

B⑧ 論文要旨 : 各 3部

B⑨ 論文リスト： 3部

B⑩ 変更理由書： 3部

(4) 修士論文を修正した場合

提出済みの学位請求論文を修正することができるが、その場合、修正後の論文を提出済み修士学位請求論文とともに提出すること。

B⑪ 修士論文の修正版： 3部

5. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については、電子ファイル（PDF ファイルまたは MS Word ファイル）を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

A⑦ 研究計画書

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

A⑬ 研究業績

A⑭ 研究業績の要旨

B③ 修士学位請求論文

B④ 修士学位請求論文の要旨

B⑤ 未完成の論文の要旨

B⑦ 修士学位請求論文に代わる研究論文（A⑬を提出する場合は不要）

B⑧ 研究論文の要旨（A⑭を提出する場合は不要）

B⑪ 修士論文の修正版

6. 検 定 料

出願者は検定料を支払わなければならない。

必要書類に 30,000 円の郵便普通為替を添え、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。郵便普通為替には氏名等何も記入しないこと。

Y① 30,000 円の郵便普通為替

ただし名古屋大学大学院全研究科の前期課程（修士課程）を 2020 年 3 月修了見込みの者及び国費外国人留学生は検定料を必要としない。なお、他大学大学院から受験する国費外国人留学生は「国費外国人留学生証明書」を提出すること。

7. そ の 他

(1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。

(2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/> を参照すること。

(3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

8. 照 会 先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)
国際開発研究科入試担当
電 話 : 052 (789) 4957
FAX : 052 (789) 4921
Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

B. 修士論文を提出して修士の学位を授与された者または2020年3月31日までに授与される見込みの者

提出物チェックリスト

A①	進学・入学志願書	全員	
A②	履歴書	全員	
A③	写真票・受験票	全員	
A④	領収証書	全員	
A⑤	返信用封筒：2通	全員	
A⑥	あて名シール	全員	
A⑦	研究計画書：3部	全員	Email
A⑧	パスポートの写し（コピー）	外国人	
A⑨	在留カードの両面の写し（コピー）	外国人	
A⑩	推薦書	任意	
A⑪	自薦書	任意	
A⑫	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書：3部	任意	Email
A⑬	研究業績	任意	Email
A⑭	研究業績の要旨：各3部	任意	Email
A⑮	研究業績リスト：3部	任意	
A⑯	語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）	任意	
Y①	30,000円の郵便普通為替	該当者	
B①	成績証明書	全員	
B②	修士学位証明書または取得見込証明書	全員	
B③	修士学位請求論文の写し（コピー）：3部	全員	Email
B④	修士学位請求論文の要旨：3部	全員	Email
B⑤	未完成の論文要旨：3部	該当者	Email
B⑥	修士学位請求論文提出締め切りを証明する書類	該当者	
B⑦	修士学位請求論文に代わる研究論文：各3部	該当者	Email
B⑧	論文要旨：3部	該当者	Email
B⑨	論文リスト：3部	該当者	
B⑩	変更理由書：3部	該当者	
B⑪	修士論文の修正版：3部	任意	Email

ここに✓をいれる。

C. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2020年3月31日までに授与される見込みの者

1. 出願資格

次の各号の一つに該当する者

修士学位請求論文を提出せず、または日本語もしくは英語以外の修士学位請求論文を提出し

- ① 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者

2. 出願書類(共通)

進学・入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

(1) 全員が提出する書類(所定用紙)

A① 進学・入学志願書*

必要事項を記入すること。

A② 履歴書*

必要事項を記入すること。

A③ 写真票*・受験票*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒* 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

*出願書類A①・A②・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項(p.1)の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 全員が提出する書類（書式自由）

A⑦ 研究計画書： 3部

A4 版用紙に和文 5,000 字以内、または英文 2,000 語以内。紙媒体 3 部を提出すること。

(3) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

A⑧ パスポートの写し（コピー）

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し（コピー）を提出すること。

A⑨ 在留カードの両面の写し（コピー）

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写し（コピー）を提出すること。

(4) 提出が任意の書類

A⑩ 推薦書

最終出身大学院の指導教員、所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。提出は任意。

A⑪ 自薦書

提出は任意。

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書： 3部

実務家または研究者としての経験を有する場合のみ。A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。提出は任意。

A⑬ 研究業績

修士学位請求論文以外に、研究テーマに関連する研究業績（日本語または英語）がある場合には、研究テーマに関連する研究論文（日本語または英語）等の写し（コピー）及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

A⑬ 研究業績： 各 3 部

A⑭ 研究業績の要旨： 3 部

A⑮ 研究業績リスト： 3 部

A⑯ 語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）

英語能力試験（TOEFL, TOEIC または IELTS）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。提出は任意。

3. 出願書類（C用）

上記出願書類に加えて以下の書類を提出する。

C① 成績証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

C② 修士学位証明書または取得見込証明書

最終出身大学院発行のもの。写し（コピー）は不可。

C③ 修士学位請求論文の要旨： 3部

日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度。

修士学位請求論文が日本語または英語以外の言語で書かれている場合提出しなければならない。修士学位請求論文を提出していない場合は不要。

C④ 修士学位請求論文の翻訳： 3部

日本語または英語以外の言語で修士論文が書かれている場合、当該修士論文の全部もしくは一部を日本語または英語へ翻訳したものを提出しなければならない。要約でもかまわない。日本語 10,000 字または英語 4,000 語以上であることを要す。修士学位請求論文を提出していない場合は不要。また、当該翻訳に代えて、その他の論文（C⑤）を提出することができる。

C⑤ 修士学位請求論文に代わる研究論文

修士学位請求論文を提出していない場合、研究テーマに関連する研究論文（日本語 10,000 字以上または英語 4,000 語以上）等の写し（コピー）及びその論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出しなければならない。また修士学位請求論文が日本語または英語以外の言語で書かれている場合、修士学位請求論文の翻訳（C④）に代えて、研究テーマに関連する研究論文（日本語 10,000 字以上または英語 4,000 語以上）等の写し（コピー）及び論文要旨（日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度）を提出することができる。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。公刊されている必要はない。

修士学位請求論文に代わる研究論文を提出する場合、論文リストも提出すること。論文リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の一章である場合、編集者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。

研究業績（出願書類 A⑬・A⑭・A⑮）を提出する場合は不要。

C⑤ 修士学位請求論文に代わる研究論文： 各 3 部

C⑥ 論文要旨： 各 3 部

C⑦ 論文リスト： 3 部

4. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については、電子ファイル（PDF ファイルまたは MS Word ファイル）を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

A⑦ 研究計画書

A⑫ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

A⑬ 研究業績

A⑭ 研究業績の要旨

- C③ 修士学位請求論文の要旨
- C④ 修士学位請求論文の翻訳 (C⑤を提出する場合は不要)
- C⑤ 修士学位請求論文に代わる研究論文 (A③を提出する場合は不要)
- C⑥ 論文の要旨 (A④を提出する場合は不要)

5. 検 定 料

出願者は検定料を支払わなければならない。

必要書類に 30,000 円の郵便普通為替を添え、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。郵便普通為替には氏名等何も記入しないこと。

Y① 30,000 円の郵便普通為替。

ただし名古屋大学大学院全研究科の前期課程（修士課程）を 2020 年 3 月修了見込みの者及び国費外国人留学生は検定料を必要としない。なお、他大学大学院から受験する国費外国人留学生は「国費外国人留学生証明書」を提出すること。

6. そ の 他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/> を参照すること。
- (3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

7. 照 会 先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)
国際開発研究科入試担当
電 話 : 052 (789) 4957
FAX : 052 (789) 4921
Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

C. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2020年3月31日までに授与される見込みの者

提出物チェックリスト

A①	進学・入学志願書	全員	
A②	履歴書	全員	
A③	写真票・受験票	全員	
A④	領収証書	全員	
A⑤	返信用封筒：2通	全員	
A⑥	あて名シール	全員	
A⑦	研究計画書：3部	全員	Email
A⑧	パスポートの写し（コピー）	外国人	
A⑨	在留カードの両面の写し（コピー）	外国人	
A⑩	推薦書	任意	
A⑪	自薦書	任意	
A⑫	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書：3部	任意	Email
A⑬	研究業績	任意	Email
A⑭	研究業績の要旨：各3部	任意	Email
A⑮	研究業績リスト：3部	任意	
A⑯	語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）	任意	
Y①	30,000円の郵便普通為替	該当者	
C①	成績証明書	全員	
C②	修士学位証明書または取得見込証明書	全員	
C③	修士学位請求論文の要旨：3部	該当者	Email
C④	修士学位請求論文の翻訳：3部	該当者	Email
C⑤	修士学位請求論文に代わる研究論文：3部	該当者	Email
C⑥	論文要旨：3部	該当者	Email
C⑦	論文リスト：3部	該当者	

ここに✓をいれる。

D. 修士の学位を授与されていない者または2020年3月31日までに授与される見込みのない者

1. 出願資格

(1) 出願可能な資格

次の各号の一つに該当する者は、出願資格を有する。

- ① 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2020年3月31日までに授与される見込みの者

(2) 出願資格者

上記各号の一つに該当し、

Di 研究論文を提出して修士の学位に相当する学位を得た場合、または2020年3月31日までに授与される見込みの場合

⇒ B (p. 7) へ行く。

Dii 研究論文を提出することなく修士の学位に相当する学位を得た場合、または2020年3月31日までに授与される見込みの場合

⇒ C (p. 13) へ行く。

(3) 出願資格のない者

上記出願資格に該当しない者であっても、受験資格審査を受けることによって受験が認められる場合がある。

2. 受験資格確認

(1) 受験資格が認められる場合

次の場合には、受験資格確認を受けることによって受験資格が認められる。

① 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

日本の大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

② 本研究科において、個別の受験資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2020年3月31日までに24歳に達する者

(2) 出願資格がないと思われる場合、または出願資格の有無を確認したい場合、受験資格確認を申請することができる。

3. 受験資格確認に必要な書類

受験資格確認を希望する者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。

(1) 全員が提出する書類

D① 受験資格審査願* (所定用紙)

必要事項を記入すること。

D② 履歴書* (所定用紙)

必要事項を記入すること。(A②と同じ)

D③ 研究計画書： 3部

A4 版用紙に和文 5,000 字以内、または英文 2,000 語以内。紙媒体 3 部を提出すること。(A⑦と同じ)

D④ 大学 (学部レベル) または最終出身学校の成績証明書

大学 (学部レベル) または最終出身学校発行のもの。写し (コピー) は不可。

D⑤ 大学 (学部レベル) または最終出身学校の卒業証明書

大学 (学部レベル) または最終出身学校発行のもの。写し (コピー) は不可。

D⑥ 返信用封筒

受験資格審査結果通知用。長形 3 号封筒 [約 12 cm×23.5 cm] に切手 [372 円分] を貼付したもの。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 6 枚を入手して同封すること。

*出願書類 D①・D②の請求は、この学生募集要項 (p. 1) の 3 出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 提出が任意の書類

D⑦ 推薦書

所属機関の上司などによるもので、推薦者により厳封されたもの。ただし提出は任意。

D⑧ 自薦書

提出は任意。

D⑨ 研究歴証明書* (所定用紙)

研究歴を有する者のみ提出すること。所属機関の長等が証明したもの

D⑩ 研究業績または実務経験の成果

研究テーマに関連する研究業績 (日本語または英語) がある場合は、研究テーマに関連する研究論文 (日本語または英語) 等の写し (コピー) 及び論文要旨 (日本語 3,000 字または英語 1,200 語程度) を提出することができる (A⑬及び A⑭と同じ)。公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。公刊されている必要はない。その場合、研究業績リストも提出すること。研究業績リストには、論文の場合、全執筆者名、論文のタイトル、雑誌名、巻号、最初のページと最後のページ及び出版年を記載すること。未公刊の場合はその旨を明記すること。書籍の 1 章

である場合、編者名、章のタイトル、最初のページと最後のページ、出版社及び出版年を記載すること。書籍の場合、全執筆者名、書籍のタイトル、ページ数、出版社及び出版年を記載すること。(A⑮と同じ)

実務経験がある場合、その成果をまとめたもの(レポート等)があれば提出することができる。

- D⑩ 研究業績： 各 3 部
- D⑪ 研究業績の要旨： 各 3 部
- D⑫ 研究業績リスト： 3 部
- D⑬ 実務経験の成果： 3 部

- D⑭ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書： 3 部
A4 版用紙に和文 2,000 字または英文 800 語程度。紙媒体 3 部を提出すること。

*出願書類 D⑨の請求は、この学生募集要項 (p. 1) の 3 出願所定用紙の入手を参照すること。

4. 電子ファイルの提出

以下の提出書類については、電子ファイル (PDF ファイルまたは MS Word ファイル) を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

- D③ 研究計画書
- D⑩ 研究業績
- D⑪ 研究業績の要旨
- D⑬ 実務経験の成果
- D⑭ 社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書

5. 受験資格確認手続き

- (1) 受験資格確認申請期間

2019 年 12 月 13 日 (金) 午後 4 時 [必着] まで
受験資格確認のために、検定料等の支払いは不要である。

- (2) 出願書類提出先

文系教務課・国際開発研究科入試担当に書類を提出すること。

- (3) 審査結果の通知

受験資格審査による結果は、概ね 2 週間以内に本人あてに通知する。

- (4) 受験資格確認と出願

出願期間内に受験資格確認の申請を行う場合、出願手続きを同時に行わなければならない。その場合、検定料を支払わなければならない。また、出願後に行われた受験資格審査の結果、受験資格がないと判断された場合でも検定料の払い戻しは行われないので注意すること。

6. 受験資格が確認された者

受験資格が確認された者は、願書受付期間 (p. 1 を参照) に下記の書類を、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。

(1) 全員が提出する書類（所定用紙）

A① 進学・入学志願書*

必要事項を記入すること。

A③ 写真票*・受験票*

必要事項を記入すること。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。

A④ 領収証書*

所定用紙に氏名を記入すること。

A⑤ 返信用封筒* 2通

所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付する。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。

A⑥ あて名シール*

所定用紙を使用。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。

*出願書類 A①・A③・A④・A⑤・A⑥の請求は、この学生募集要項（p. 1）の3出願所定用紙の入手を参照すること。

(2) 日本国籍を持っていない者が提出する書類

A⑧ パスポートの写し（コピー）

日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し（コピー）を提出すること。

A⑨ 在留カードの両面の写し（コピー）

日本国籍を持っていない日本国内居住者は、在留カードの両面の写し（コピー）を提出すること。

(3) 提出が任意の書類

A⑩ 語学能力試験の成績通知書の写し（コピー）

英語能力試験（TOEFL, TOEIC または IELTS）または日本語能力試験（JLPT）の成績通知書の写し（コピー）。提出は任意。

7. 検定料

出願者は検定料を支払わなければならない。

必要書類に 30,000 円の郵便普通為替を添え、文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出すること。郵便普通為替には氏名等何も記入しないこと。

ただし国費外国人留学生は検定料を必要としない。なお、他大学大学院から受験する国費外国人留学生は「国費外国人留学生証明書」を提出すること。

Y① 30,000 円の郵便普通為替

8. そ の 他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/> を参照すること。
- (3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

9. 照 会 先

不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)
国際開発研究科入試担当
電 話 : 052 (789) 4957
FAX : 052 (789) 4921
Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

D. 修士の学位を授与されていない者または2020年3月31日までに授与される見込みのない者

提出物チェックリスト

(1) 事前審査用

D①	受験資格審査願	全員	
D②	履歴書	全員	
D③	研究計画書：3部	全員	Email
D④	大学または最終出身学校の成績証明書	全員	
D⑤	大学または最終出身学校の卒業証明書	全員	
D⑥	返信用封筒	全員	
D⑦	推薦書	任意	
D⑧	自薦書	任意	
D⑨	研究歴証明書	任意	
D⑩	研究業績：各3部	任意	Email
D⑪	研究業績の要旨：3部	任意	Email
D⑫	研究業績リスト：3部	任意	
D⑬	実務経験の成果：3部	任意	Email
D⑭	社会人としての実務経験または研究歴に関する報告書：3部	任意	Email

ここに✓をいれる。

(2) 出願用

A①	進学・入学志願書	全員	
A③	写真票・受験票	全員	
A④	領収証書	全員	
A⑤	返信用封筒：2通	全員	
A⑥	あて名シール	全員	
A⑧	パスポートの写し（コピー）	外国人	
A⑨	在留カードの両面の写し（コピー）	外国人	
A⑯	日本語能力試験の成績通知書の写し（コピー）	任意	
Y①	30,000円の郵便普通為替	全員	

ここに✓をいれる。

E. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者

1. 特別な配慮に関する相談

障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談すること。

(1) 相談の時期：2019年11月12日（火）16時まで

(2) 提出書類

以下の書類を提出すること。

E① 障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を記した要望書

障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を具体的に記載したもの。A4判用紙に横書で記入すること。様式は自由。

E② 医師の診断書

障がい等に関する医師の診断書。受診日から3か月以内のもの。写し（コピー）でもかまわない。

E③ その他の書類

上記以外の書類を適宜添付してよい。

(3) 相談方法

文系教務課・国際開発研究科入試担当から連絡する。

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合、出願期間終了日時までに問い合わせること。

2. 出願

文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談のうえ、出願することができる。出願に当たって、

A. 国際関係研究科（GSID）博士前期課程を2019年9月に修了見込みの者 ⇒ A（p. 4）へ行く。

B. 修士論文を提出して修士の学位を授与された者または2020年3月31日までに授与される見込みの者 ⇒ B（p. 7）へ行く。

C. 修士論文を提出することなく修士の学位を得た者または2020年3月31日までに授与される見込みの者 ⇒ C（p. 13）へ行く。

D. 修士の学位を授与されていない者または2020年3月31日までに授与される見込みのない者 ⇒ D（p. 18）へ行く。

3. 相 談 先

相談は、文系教務課・国際開発研究科入試担当と行うこと。不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)
国際開発研究科入試担当
電 話 : 052 (789) 4957
FAX : 052 (789) 4921
Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

E. 障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者

提出物チェックシート

	E①	障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を記した要望書	全員	
	E②	医師の診断書	全員	
	E③	その他の書類	任意	

ここに✓をいれる。

II. 社会人（高度専門人）特別選抜（4月入学）

名古屋大学大学院国際開発研究科国際開発協力専攻は、すでに国際開発および国際協力の現場において高度の経験と知識を有している社会（職業）人に対して、その経験と知識の深化と理論化の機会を提供するために、博士後期課程入学のための特別選抜制度を実施する。

1. 出願資格

①国際開発・国際協力関連業務または研究を実施している機関に在職中（休職中のものを除く）であり、3年以上の職務経験を有しており、②当該機関の長による推薦状を有し、③本研究科国際開発協力専攻教員が指導を承諾した者で、かつ次の各号の一つに該当する者

- (1) 本学大学院もしくは日本の他の大学院で修士の学位または専門職学位を授与された者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1号第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
日本の大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 本研究科において、個別の受験資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2020年3月31日までに25歳に達する者

ただし、本研究科博士後期課程一般選抜入試との併願は認めない。

2. 募集人員

国際開発協力専攻 若干名

3. 願書受付期間

2019年12月2日（月）～2019年12月13日（金）午前9時から午後4時まで受理する。

郵送による場合は書留郵便とし、2019年12月13日（金）午後4時までに到着したものに限り受理する。

4. 出 願 書 類

入学志願者は次の書類等を取りそろえ、文系教務課・国際開発研究科入試担当あてに提出すること。黒インクまたはタイプを使用すること。出願資格 (6), (7)により出願する場合は、**【注】受験資格審査について**によること。

- (1) 入学志願書* (所定用紙)
 - (2) 履歴書* (所定用紙)
 - (3) 国際開発・協力に関連する業務に3年以上従事していることを証する資料、及び実務経験に関する報告書 3部 (A4版用紙に和文3,000字または英文1,200語程度)
 - (4) 写真票*・受験票* (所定用紙。写真は、上半身脱帽で正面写し、かつ3か月以内に撮影したものを写真票に貼ること。)
領収証書* (所定用紙。氏名を記入すること。)
 - (5) 返信用封筒* 2通 (所定の封筒2通に本人の郵便受け取り用住所、郵便番号、氏名を記入し、それぞれ切手〔372円分〕を貼付したもの。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。)
 - (6) あて名シール* 2枚 (所定用紙。住所、郵便番号、氏名を2枚とも記入すること。)
 - (7) 所属長による推薦書 (在職期間も明記のこと。推薦者により厳封されたもの)
 - (8) 本研究科国際開発協力専攻教員による理由を付した承諾書 (承諾教員により厳封されたもの)
 - (9) 成績証明書 (最終出身大学院発行のもの) 写し (コピー) は不可。
 - (10) 修士学位証明書 写し (コピー) は不可。
 - (11) 研究計画書 3部 (A4版用紙に和文5,000字以内、または英文2,000語以内)
紙媒体3部を提出するとともに、電子ファイル (PDFファイルまたはWordファイル) を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。
 - (12) 修士学位論文の写し (コピー) 及びその要旨 (和文: 3,000字または英語1,200語程度) 各3部
修士学位論文がない場合、それに代わる研究や実務経験の成果 (研究論文やレポート等) の写し (コピー) 及びその研究論運・レポート等の要旨 (和文: 3,000字または英文1,200語程度) (公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。) 各3部
紙媒体3部を提出するとともに、電子ファイル (PDFファイルまたはWordファイル) を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。
 - (13) 日本国籍を持っていない者は、パスポートの顔写真の載るページの写し (コピー) を提出すること。なお、日本国内居住者は、在留カードの両面の写し (コピー) も提出すること。
- *出願書類(1)・(2)・(4)・(5)・(6)の請求は、この学生募集要項 (p.1) の3出願所定用紙の入手を参照すること。
- なお、その他不明な点は文系教務課・国際開発研究科入試担当へ照会すること。

5. 出 願 手 続

- (1) 出願所定用紙 (別冊) を入手すること。希望者には郵送するので、郵送を希望する者 (日本国内在住) は、返信用封筒 (角形2号 [約32cm×24cm]) に必要分の切手 (下記参照) を貼付し、あて名を明記したものを同封して、文系教務課・国際開発研究科入試担当に申し込むこと。なお、郵送する封筒に「2020年度後期課程 (4月入学) 出願所定用紙 (別冊) 請求」と朱書すること。
出願所定用紙 (別冊) のみ請求 250円分の切手

海外から出願所定用紙 (別冊) 等を請求する場合は gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで連絡すること。

- (2) 出願者は前項(1)から(13)の書類に検定料 (30,000 円の郵便普通為替とし、氏名等何も記入しないこと) を添え、本研究科に提出すること。

【注】受験資格審査について

(1) 出願資格(6)により出願する者

あらかじめ次の書類を 2019 年 11 月 12 日 (火) [必着] までに文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出し、受験資格審査を受けること。

受験資格審査による結果は、2019 年 11 月 29 日 (金) までに本人あてに通知する。

- ① 受験資格審査願* (所定用紙)
- ② 履歴書* (所定用紙)
- ③ 研究歴証明書* (所定用紙。所属機関の長等が証明したもの)
- ④ 推薦書 (所属長によるもの。[在職期間も明記のこと。推薦者により厳封されたもの])
- ⑤ 大学の卒業証明書及び成績証明書 写し (コピー) は不可。
- ⑥ 学術論文、著書等の写し (コピー) (公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。) 3 部

紙媒体 3 部を提出するとともに、電子ファイル (PDF ファイルまたは Word ファイル) を gsideexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

- ⑦ 研究計画書 (A4 版用紙に和文 5,000 字以内、または英文 2,000 語以内) 3 部
紙媒体 3 部を提出するとともに、電子ファイル (PDF ファイルまたは Word ファイル) を gsideexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。
- ⑧ 国際開発・協力に関連する業務に 3 年以上従事していることを証する資料、及び実務経験に関する報告書 (A4 版用紙に和文 3,000 字または英文 1,200 語程度) 3 部
- ⑨ 返信用封筒 (受験資格審査結果通知用。長形 3 号封筒 [約 12 cm×23.5 cm] に切手 [372 円分] を貼付したもの。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券 6 枚を入手して同封すること。)

*出願書類①・②・③の請求は、この学生募集要項 (p. 1) の 3 出願所定用紙の入手を参照すること。受験資格審査の結果、出願資格を有すると判定された者の出願書類等は、(p. 27) 4. 出願書類の (1), (4)~(6), (8), (13) 及び検定料 (30,000 円の郵便普通為替とし、氏名等何も記入しないこと。) とする。

(2) 出願資格(7)により出願する者

次の書類を 2019 年 11 月 12 日 (火) [必着] までに文系教務課・国際開発研究科入試担当に提出し、受験資格審査を受けること。

受験資格審査による結果は、2019 年 11 月 29 日 (金) までに本人あてに通知する。

- ① 受験資格審査願* (所定用紙)
- ② 履歴書* (所定用紙)
- ③ 推薦書 (所属長によるもの。[在職期間も明記のこと。推薦者により厳封されたもの])
- ④ 成績証明書 (最終出身学校発行のもの) 写し (コピー) は不可。
- ⑤ 研究計画書 (A4 版用紙に和文 5,000 字以内、または英文 2,000 語以内) 3 部
紙媒体 3 部を提出するとともに、電子ファイル (PDF ファイルまたは Word ファイル) を gsideexam@adm.nagoya-u.ac.jp まで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。
- ⑥ 国際開発・協力に関連する業務に 3 年以上従事していることを証する資料、及び実務経験に関する報告書 (A4 版用紙に和文 3,000 字または英文 1,200 語程度) 3 部

⑦ 修士学位論文に代わる研究や実務経験の成果（研究論文及びレポート等）の写し（コピー）（公刊されている場合、公刊を証する表紙等を付すること。） 3部

紙媒体3部を提出するとともに、電子ファイル（PDFファイルまたはWordファイル）を gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jpまで送付すること。件名欄には志願者氏名を書くこと。

⑧ 研究歴証明書*（所定用紙。提出可能な者）

⑨ 返信用封筒（受験資格審査結果通知用。長形3号封筒〔約12cm×23.5cm〕に切手〔372円分〕を貼付したもの。もし日本の切手が入手できない場合は、国際返信切手券6枚を入手して同封すること。）

*出願書類①・②・⑧の請求は、この学生募集要項5.(1)を参照すること。

受験資格審査の結果、出願資格を有すると判定された者の出願書類等は、(p.27) 4. 出願書類の(1), (4)~(6), (8), (13)及び検定料(30,000円の郵便普通為替とし、氏名等に何も記入しないこと。)とする。

6. 選考の方法

選考は、書類選考とする。

7. 合格者発表

(1) 日時 2020年2月12日(水) 午後2時頃の予定(電話による照会には一切応じない。)

(2) 場所 国際開発研究科玄関

(3) 通知 発表ののち発送する。

8. 入学手続

詳細については別途通知する。

(1) 手続 2020年3月26日(木)～3月27日(金)

(2) 入学時に要する学生納入金

① 入学料 282,000円

② 授業料6か月分(2020年4月～2020年9月) 267,900円(年額535,800円)

(注1) 他の大学の学籍を有する者は原則として入学が許可されない。ただし、事情により許可される場合があるので、入学手続の前に文系教務課・国際開発研究科入試担当に問い合わせること。

(注2) 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改正時から新たな学生納入金が適用される。

9. 障がいのある者等の出願について

障がいのある者等で、受験上の特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、以下によりあらかじめ文系教務課・国際開発研究科入試担当と相談すること。

(1) 相談の時期：2019年11月12日(火)16時まで

(2) 相談方法

以下の書類①及び②を提出すること。また、①及び②以外に適宜書類を添付してもよい。

①障がい等の状況及び必要とする受験上の配慮を具体的に記載したもの(A4判用紙に横書で様式は自由)

②障がい等に関する医師の診断書(受診日から3か月以内のもの。写しでもかまわない。)

(3) 連絡先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4(700) 名古屋大学文系教務課(文系総合館1階) 国際開発研究科入試担当

なお、入学後の修学に関して相談の希望がある場合、出願期間終了日時までに問い合わせること。

10. そ の 他

- (1) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の返付はしない。提出された書類は返却しない。
- (2) 本研究科の概要については本研究科ホームページ <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/>を参照すること。
- (3) 出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報、入学者選抜、合格発表、入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用しない。

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

◇国際開発研究科ホームページ <https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/>

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
名古屋大学文系教務課 (文系総合館 1 階)
国際開発研究科入試担当
電 話 : 052 (789) 4957
F A X : 052 (789) 4921
Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院国際開発研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)

電話 (052) 789-4957

FAX (052) 789-4921

Email : gsidexam@adm.nagoya-u.ac.jp

<https://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/>